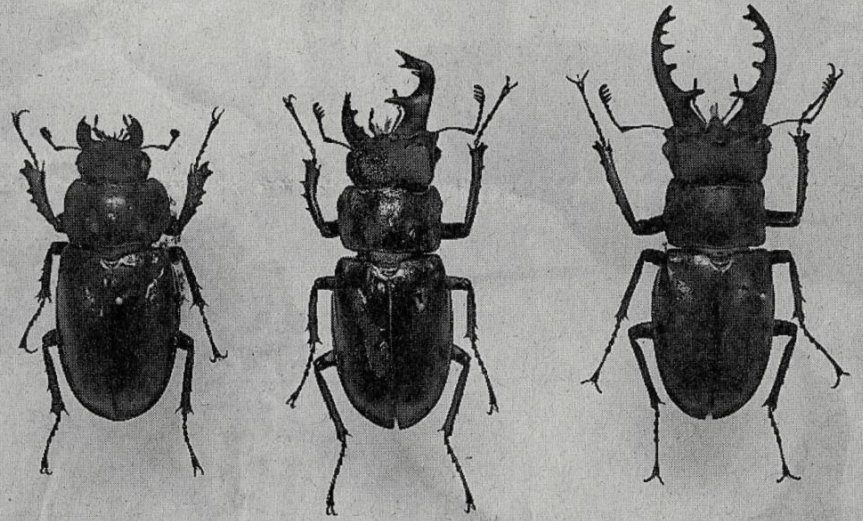


レアな雌雄モザイク クワガタ集合

まんのう 来月26日まで・土曜展示



ミヤマクワガタの雌雄モザイク個体
(中央)の標本=まんのう町中通

メスとオスの両方の特徴を持った「雌雄モザイク個体」のクワガタ標本が、まんのう町中通のことなみ未来館で展示されている。NPO法人「みんなでつくる自然史博物館・香川」(みんなつく香川)の主催で、9月26日

までの毎週土曜日限定。展示されているのは、昨夏にさぬき市で見つかったミヤマクワガタを含む国内外から集めた5匹。アゴや触角などの大きさや形が、左右で大きく異なっていることが一目でわかる。

ミヤマクワガタの雌雄モザイク個体について説明する松本慶一さん



雌雄モザイク個体が生まれる確率は、数万〜数十万分の1とも言われる。みんなつく香川の野生生物保護研究員、松本慶一さん(54)は「通常の個体よりも動きが鈍く、天敵に捕食されやすいこともあって、発見するのは至難だ」と指摘する。なぜメスとオスの特徴が混在するのか、理由ははっ

きりしていないという。標本展は入場無料で、午前10時〜午後4時。スタッフが常駐し、来場者からの質問や相談を受け付ける。松本さんは「訪れた子どもたちが『どうやったらこんなクワガタを捕まえられるんだろう』と想像し、野外に出て、自然とつながるきっかけになれば」と話した。

(石崎太貴)